

オ 「明治はいかに英語を学んだか」

英語辞書史・接触言語学を研究しておられ、明治期の辞書などのコレクションをお持ちの愛知大学大学院の早川勇教授から企画の提案があり、20年1月11日（金）から2月27日（水）まで、2階ロビーで実施した。

構成・解説などに早川教授の指導を仰ぎ、早川教授個人蔵の明治期の英語辞書、英語入門書など34点と、当館所蔵の明治期の辞書4点を、展示ケースに納め展示。ほかに、英学史や漂流民に関するものなど、当館所蔵の関係図書148冊を机上に並べ、館外貸出ができるものは貸出も行った。

1月27日（日）には、早川教授を講師として1階AVホールで講演会を開催、30名の参加者があった。

（5） 地域資料展示・ミニ企画展示など

3階の地域資料展示コーナーでは、19年3月16日（金）から11月7日（水）まで『名古屋豆本』の世界」と題して、名古屋タイムズ社社長であり、詩人・画家でもあった亀山巖氏が昭和42年（1967）に発行を始めた「名古屋豆本」の一部を展示ケースに納めて紹介した。続いて11月9日（金）から20年2月27日（水）までは、「吉田初三郎の鳥瞰図」として初三郎のパノラマ作品を紹介した。

3階ティーンズコーナーでは、19年3月16日（金）から5月9日（水）まで「映画・ドラマになった本」約300冊を、7月13日（金）から9月12日（水）まで「すこし先の未来の本」として将来について考えるための、生き方、環境、戦争と平和に関する本など約240冊を展示、貸出を行った。

このほかに3階では、19年9月に安倍首相が辞任、福田康夫・新首相が誕生したのをきっかけに、9月21日（金）から12月12日（水）まで「戦後ニッポンの首相」と題し、戦後の首相の著書や関連する図書を集めてエレベーター前で展示、貸出を行った。また、12月14日（金）から20年4月9日（水）まで「大人の絵本」として大人向けに描かれた絵本やビジュアルブックを展示、貸出をおこなった。

4階では、エレベーター前やビジネス情報コーナーで、5回の展示を行った。「コーチングで人を育てる」としてビジネス向けに書かれたコーチング関連の図書約30冊を、「職業・資格の本800冊」として職業や資格取得、就職関連の図書800冊を、「通る企画・通すプレゼン」として企画の立て方や企画書の書き方、企画内容のプレゼンなど、企画に関する仕事術の本50冊を、「はじまります『裁判員制度』」として21年5月に施行される裁判員制度に関する本、陪審員制度や刑事裁判に関する本、法廷小説などを、「ビジネスの名著・名作を読む」としてビジネス本の中で名著・名作といわれる定番物約50冊を紹介し、貸出を行った。このうち「はじまります『裁判員制度』」の会期中の12月2日（日）には、1階AVホールにおいて、名古屋地方裁判所職員を講師に「映画と講演の会」を行い、29名の入場者に対し広報用映画『裁判員』の上映と解説を行った。詳細な日程は14ページの実施事業一覧を参照されたい。

以上のほか、19年5月11日（金）から6月13日（水）まで「平成18年度読書ゆうびんコンテスト入賞作品展」を2階ロビーで開催し、愛知県から入賞した作品（はがき）とその対象図書を紹介した。

6 県内図書館の動向

平成19年10月2日、御津町文化会館図書室が御津町図書館として開館した。20年1月15日には、豊川市、音羽町、御津町の合併により、豊川市の図書館は豊川市中央図書館、豊川市音羽図書館、豊川市御津図書館の3館となった。岡崎市と日進市は共に20年秋の開館をめざし新館建設を進めている。

20年1月15日現在の愛知県内の市町村数は61で、そのうち、図書館設置市町村は50(34市15町1村)に、未設置市町村は11(1市9町1村)となり、図書館設置率は82%となった。

19年4月1日、江南市立図書館、津島市立図書館の2館で指定管理者による運営が開始された。先に導入した新城図書館、幸田町立図書館の2館に加え、県内で同制度を導入した図書館は4館となった。また、20年4月からは美和町図書館で導入される。

7 県図書館団体の動向

(1) 愛知県公立図書館長協議会

第2回定例会(平成19年10月5日小牧市)において、ヤングアダルトサービス担当者連絡会準備会を設置した。この準備会で検討をすすめ、「ヤングアダルトサービス連絡会設置要領案」及び20年度の事業案を作った。20年度の定例会で承認を得た後、「ヤングアダルトサービス連絡会」として活動を開始する。

また、20年度に愛知県で開催を予定する全国公共図書館総合・経営部門研究集会の共催を承認し、準備委員会を設置した。準備委員会では研究集会のテーマ、日程、会場、予算等を検討し開催要項(案)、予算(案)を策定した。20年度に新たに発足する実行委員会がこれを引き継ぎ、研究集会の準備をすすめる。

また、19年度に愛知県公立図書館長協議会が実施した研修は次のとおりであった。

開催日	テーマ	講師
平成19年6月1日(金)	「これからの図書館像」と図書館職員	糸賀 雅児 (慶應義塾大学文学部教授)
平成19年7月13日(金)	児童サービスを楽しもうー子どもは元気の源!	汐崎順子 (慶應義塾大学非常勤講師)
平成19年10月19日(金)	講演 ヤングアダルトサービスの基本～はじめの一步を踏み出すために～	山重壮一 (目黒区立緑が丘図書館)
	事例発表 ヤングアダルトの読書を考える研究グループの活動について	田代恵理(野洲図書館)
	パネルディスカッション YA資料の選び方	田代恵理(野洲図書館)、木村晋治(名古屋市中村図書館)、原田裕子(岡崎市立中央図書館)、福崎仁子(愛知県図書館)
平成20年2月8日(金)	図書館サービスと著作権との関係について	南 亮一 (国立国会図書館)

(2) 愛知図書館協会

愛知図書館協会が平成19年度に実施した研修は次のとおりであった。

開催日	研修名	日数及びコマ数	講師
平成19年6月28日～10月11日の4日間	児童サービス研修	全4日11限	近藤洋子(愛知淑徳大学非常勤講師)始め11名1団体
	公開講座 児童サービスを楽しもうー子どもは元気の源!	(内1限)	汐崎順子(慶應義塾大学文学部非常勤講師)
平成19年11月2日～12月20日の4日間	レファレンスサービス研修	全4日8限	坂東 彰(名古屋市鶴舞中央図書館)始め8名
	公開講座① 医療健康情報のレファレンス	(内1限)	坪内政義(愛知医科大学医学情報センター)
	公開講座② レファレンスインタビューの方法を考える	(内1限)	斎藤誠一(千葉経済大学短期大学部准教授)
平成20年1月16日～18日の3日間	資料保存研修	全3日4限	
	実習	(内2限×2回)	村上昇平(愛知県図書館)
	公開講座 調査から計画へー資料保存をスタートさせるには	内1限	木部 徹((有)資料保存器材)
平成20年3月13日～14日の2日間	IT研修	全2日6限	
	講演 図書館情報学における情報技術教育を考える	(内1限)	西荒井 学(愛知淑徳大学文学部教授)
	実習	(内5限)	三和義秀((愛知淑徳大学文学部教授)始め2名